

県展で岡田文化財団賞を受賞した作品/濱口翔(H24.3卒業)

巻頭特集 飯野高等学校 応用デザイン科

# モノをつくることは、 自分を創ること

今号の表紙も手掛けた三重県立飯野高等学校・応用デザイン科。ここで学ぶのは、鈴鹿市のある中勢エリアを中心に、県内各地から集まった美術の好きな若者たち。1年生で週8時間、2年生と3年生ではそれぞれ週12時間という、美術・デザイン関係の実習授業の多さと少人数制授業が特徴の個性あふれる高等学校です。

## あらゆる造形表現活動を通して 社会に貢献できる人材を育成

三重県内唯一の美術・デザイン専門学科がある高校として、油絵・日本画・彫刻・商業デザイン・服飾・CGなど、あらゆる造形表現活動の実習を展開するが、三重県立飯野高等学校・応用デザイン科です。

「モノをつくることは、自分を創ること」そんなコンセプトのもと、まずは1年生で彫刻・デザイン・着彩・デッサンなどの美術の基礎を学び、2年生からはそれぞれの進路希望や興味に応じて、「商業デザイン」「服飾デザイン」「コンピュータグラフィックス」「油絵」「日本画」「彫刻」の6つのコースに分かれます。

服飾デザインコースでは、糸を染めることから始まり、機織り機で反物を手織りしたり、地場産業の伊勢型紙を使ったり、コンピュータグラフィックスコースでは、画像処理やデザインソフト、2D・3Dソフトを使って、平面

構成や立体構成を学ぶほか、アニメーション作品の制作にも挑戦します。

応用デザイン科主任教諭の市川雄康先生が「短大レベル」と語るほど、学習内容は実践的で高度なもの。さらに3年生では、コースごとにより専門性を追求し、3年間の総まとめとして、卒業制作展に向けての作品づくりを行います。

「みんな美術を志しているのが個性豊か。先生も個性的な人が多く、制作をする上で、とても刺激になります」と話すのは、日本画コース3年生の川満沙耶さん。

「飯野高等学校は体育祭もユニーク。クラスアピールという種目があり、クラスごとに持ち時間約5分で出し物をします。ミニマジカルやダンス、ちよとしたショー劇場のものなど内容はさまざまですが、大道芸や仮装の内容が凝っていて、とても面白いんです」と市川先生。体育祭では近くの保育園の園児を招いて、このクラスアピールを最前列で楽しんでもらっているそうです。

## 地域の人々の目に生徒の作品が 触れる機会を積極的に作る

飯野高等学校では、三重県の自動車税期納付促進ポスターをはじめ、鈴鹿シティマラソンのオフィシャルTシャツ、9月に放送予定のNHKドラマ「ヤアになる日」タイトルロゴなどのデザインの依頼を受け、生徒が手掛けることも多々。「さまざまな経験が生徒の土壌になる」とそんな思いのもと、在学中からポスター公募やデザイン画コンクール、市展や県展などにも積極的に出品しています。

「Believe 9月号」の表紙デザインもコンピュータグラフィックスコース3年生の5人が手掛けました。「6周年ということで、6の数字を主役には、クスノキ、鈴鹿サーキット、樺大神社など……さまざまな鈴鹿の名物を集めてみました」と話してくれた田久保京さんは、2人の姉も飯野高等学校・応用デザイン科出身。小学6年生になる妹もすでにこの高校への進学を決めているそう。

地域とのつながりを意識し、各学年の修了時に行う作品展は、1年生は鈴鹿ハンター、2年生はイオンモール鈴鹿のイオンホールにて、1年間作ったものの中から、生徒自らが自信の1〜2作品を選んで出品します。3年生の卒業制作展は三重県立美術館県民ギャラリーが会場です。2011年度卒業制作展の出品作の中には、県展で最優秀賞と岡田文化財団賞を受賞したのもあるほど。今年の卒業制作展は12月20日から24日まで開催され、誰もが無料で鑑賞できます。「通りがかりの人にもぜひ見て欲しい」と思い、

今年も服飾デザインコースの卒業制作ファッションショーを、鈴鹿ハンターのセンターコートで11月24日に行います」と市川先生。

また、2011年9月からは、鈴鹿ハンターに飯野高等学校運営のギャラリーを設置し、季節ごとに作品を入替えながら、常時20点ほどを展示。一般に開放して、生徒たちの作品が地域の人々の目に触れる機会を作っています。

### 2年生から分かれる6つのコース



油絵コース  
中庭でキャンバスを広げて風景画を描いているのは、油絵コース2年生の国見奈々さん



商業デザインコース  
素描や細密描写で絵を描き、ポスターカラーで色付けする商業デザインコース



彫刻コース  
2年生の木林観奈さんは、昨年の夏休みから7か月間のフランス留学を経験



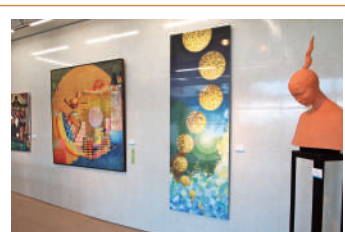
服飾デザインコース  
卒業制作展のほかに、ファッションショーも開催します



コンピュータグラフィックスコース  
デザインソフトや2D・3Dソフトを駆使して制作する、コンピュータグラフィックスコース



日本画コース  
「大学に進学後、この学校で日本画の先生になりたい」と、川満沙耶さん



三重県立飯野高等学校  
鈴鹿市三日市町東新田場 1695  
TEL 059-383-3011  
[www.mie-c.ed.jp/hiino/appliedtop.htm](http://www.mie-c.ed.jp/hiino/appliedtop.htm)



作品を披露してくれた商業デザインコース3年の野崎奈々さん(右)、岩間綾香さん(左)